

英米文化学会 会報

第34号
日発行

1998年2月20

目次

英米文化学会第96回例会と総会開催のお知らせ
学会費納入のお願い

第16回大会研究発表者募集のお知らせ

第96回例会研究発表レジメ

書評

フェミニズム分科会発足のお知らせと会員募集

『英米文化』投稿規程が改正されました

事務局から

新入会員・平成10年度学会暦

第16回大会・例会/大会申込書

他

英米文化学会第96回例会と総会開催のお知らせ

標記の例会と総会を下記要領にて開催します。

- ◆開催年月日：平成10年3月14日（土）
- ◆開催場所：日本大学歯学部3号館（お茶の水ニコライ堂隣）
- ◆時 間：例会 15:00-17:00
総会 17:00-17:30
- ◆懇親会 18:00 於 モーツアルト 会費5,000円

研究発表

1. オーラル・コミュニケーションBの各教科書における音声分析
谷 憲治（横浜国立大）
生内 裕子（東京女学館短大）
一瀬その子（日本外国語専門学校教育部）
司会 浅間 正通（静岡大学）
2. インターネットのホームページによる発信型教育及び受信の実験経過

渡辺 節子 (神田外語大/文京女子短大)
司会 伊東 田恵 (慶応義塾大)

学会費納入のご案内

平成9年度までの学会費を未納の場合には、下記の口座に振り込みをお願いいたします。

郵便局： 加入者名=英米文化学会 口座番号=00160-7-611777

銀行： 口座名義=英米文化学会

あさひ銀行毛呂山支店 口座番号=3505809 (普通預金)

(財務担当理事 石川 郁二)

第16回大会開催決定と発表者募集のお知らせ

第16回大会は以下の通り開催されます。「事務局より」にも関連記事あり。

開催月日：平成10年8月28日(金)・29日〔土〕

場所：東京農業大学オホーツク校(生物産業学部)

つきましては、上記大会の研究発表者を募集いたしますので、会員の皆様におかれましてはふるってお申し込みのほどお願いいたします。発表希望の先生は、ご氏名、所属(勤務先)、研究発表題名、発表日の希望を明記の上、封書でお申し込みください。また、400字程度の発表要旨も後日ご提出ください。発表申し込み締め切りは4月10日です。なお、発表時間は30分となります。

発表申込先：大会担当理事 曾村 充利 〒

第16回学会研究発表プログラム

1. オーラル・コミュニケーションBの各教科書における音声分析

谷 憲治・生内 裕子・一瀬その子

高等学校学習指導要領解説外国語編英語編のリスニングについての記載によると、話されたり読まれたりする内容を聞き取ること、まとまりのある文章の概要や要点を聞き取ること、内容を聞き取りながら自分の考えなどをまとめることとなっている。

この音声分析では、上記の点に照らし、現在高校生用に発行されているオーラル・コミュニケーションBの各教科書のリスニング教材としての重要性を検討し、その理論的背景を考察する。

細かい分析方法としては、各課におけるメインメッセージを中心に、Duration(発話継続時間)、Speech rate(発話速度)、Style of Delivery & Gender(話し方と性の分け方)、Authenticity(発話の自然さ)、音声指導の有無などについてデータをとった。その結果を基に、各教科書の特徴を包括的にまとめ、すべての教科書の全体的な傾向や今後の課題等も見て行く。

2. インターネットのホームページによる発信型教育及び受信の実験経過

渡辺 節子

1997年10月より、下記サイトを設け、2つの大学の学生に日本文化をバイリンガルで発信させています。それまではガイドを印刷発行していました。on line と印刷物ガイドを比較、制作過程及び発信、受信での教育成果、予期せず生じた実に様々な問題点を考察します。

なおCGIによる簡単なクイズを2月9日からアップするので、サイトをbrowse なさってからご出席いただき、アドバイス下さるようお願いいたします。

Japan Thru Young Eyes

URL: www.wnn.or.jp/wnn-tokyo/english/young/001/

考察項目

1. 制作過程

hyper copy vs. hard copy / group work vs. individual work /

2. 実際にアップした作品の受信サイドの問題点

分科会の研究成果の出版

1. 『たたかう性---英米文学のヒロインたちに見る反「近代」---』

英米文化学会編 一葉社

評者 勝浦 吉雄 (立正大学名誉教授)

本書は「あとがき」にもあるように、本会の第一分科会が1991年以来、英米文学を専攻する会員有志が10名ほど毎月集い「ジャック・ラカン」を研究課題に共通テーマをコツコツと研究され、その努力を積み重ね、深化させて行くこと7年、それが見事に実った労作であり、会員諸氏はすでに一再ならず本書を味読され、評者よりも内容を熟知されていると思うが、もう一度読み直してみよう。

本書の輪郭は「まえがき」と「あとがき」を一読すれば大凡の理解は得られるが、執筆者6氏の力強い論考を順に一瞥してみたい。

吉田氏の「セクシュアリティの解体」---マードック『イタリアの女』はOedipus (complex)をベースにした原典と同様、難解で一度読み流したぐらいでは理解が困難。氏は読者対象をどの辺に置かれたのか、術語の注釈と共に錯綜する登場人物をできれば図式化して欲しかった。佐久田氏の「選択」---スタイロン『ソフィの選択』はナチスの強制収容所アウシュヴィッツと聞いただけで悪寒を覚える題材、わが子2人のうち、どちらかをガス室に送る選択を迫られた母親の心境は読者の想像を越えるもの、よく描かれている。君塚氏の「「セックス」こそ生きている証?」---マラマッド『ドゥベン氏の冬』は論題の通り、人間色気を失ったら終り、男女ともにこの世に在る間は色気を失いたくない。五味田氏の「視線のエロス」---ワイルド『サロメ』は氏が長年温めていた論

題、説得力がある。高取氏の「生きることへのあくなき挑戦」---ドライサー『シスター・キャリー』は必死に人生と闘うキャリー、自己の性を犠牲にして成功への道をひた走る姿は活力がある。須田氏の「死とエロスの随想」---ロレンス『恋する女たち』はロレンス自体が難解のように難解な部類。総じてもう少し素人にも分かり易く書いて欲しかった。

2. マルカム・ブラッドベリ著／英米文化学会編訳『現代アメリカ小説』

彩流社

評者 大島良行（専修大学教授）

今から20年ほど前、チェコの首都プラハの、フランツ・カフカの家の上りのユダヤ人の墓場で、私がタバコを吸っていると、棍棒を構えた老婆がにわかに出現して、危うく撲殺されかけたことがある。あの連合赤軍の浅間山荘事件の年であった。

ホロコーストの犠牲者を悼むこともなく、彼らには禁断のタバコをふかす一介の観光客だった私は、あのときほど恐怖と慙愧の念にかられたことがなかった。そのころの私は、ブラック・ムスリムズの人々と親しく、夜の黒人街を案内してもらい、ブラック・ソウルに少しく触れたつもりでいた。また仕事の都合上タイム・ライフ社の依頼で西部「開拓」史を通じてネイティヴ・アメリカンについて学ばせてもらっていた。だが、ユダヤ系アメリカ人については、全く無知だった。時まさに内外ともにベトナム戦争と反戦運動と大学紛争の真最中で、アメリカが55万人を投入して5万8千人が戦死している時代で、最前線の戦死者の大部分が黒人だった。このとき、ハイフン付きのアメリカ人のアイデンティティの自覚の問題を含めて、文学や哲学がまるで無力に見えた。

このたび、私が設立に手を貸した英米文化学会が創立30周年を迎えたこの折りに、この本を入手できて、しかも1945年の第2次大戦の終戦から1980年以降までのアメリカ小説を概観できたことが、これまでの私の不勉強への強烈な鞭となった。これに携った人々の努力に感謝して祝意を表したい。訳文も明解で正確であり、努力に伴う苦渋を感じさせないのも、敬服に値する。時機をえた傑れた労作といわざるをえない。しかも、重要用語解説と主要作家解説、作品年表、索引まで付いていて、学生のほかアメリカを知りたい知識人にも大いに役立ち、蒙を啓いてくれるに違いない。

会員による出版・執筆

1. 深井宏一著『現代英語文のレトリック』（立正大学経済研究所、非売品）

この一端は、長野の第14回大会（1996年8月）におけるご講演「現代英語文のレトリック---日英語の静態と動態」の中で、TIMEやNEWSWEEKの第一線のジャーナリストの英文の書き出しのレトリックを鮮やかに分類・類型化されて提示され、私たちに大きな感銘を与えられたのはまだ記憶に新しいところです。約300ページに及ぶ本書では、導入部分だけではなく、さまざまな展開のレトリック、パラグラフとパラグラフの移行のレトリック、さらには結びのレトリックに至るまで詳細に考察、分析されて、実証的に、しかもわかりやすく類型化されて、世界中の読者を引き付ける達意の文章を書く記者たちの

手の内を明らかにしてくれた類のないご研究の所産です。啓蒙されること疑いなしですので、ぜひ先生にお願いして譲っていただくことをおすすめします。

2. 山田 勝編『オスカー・ワイルド事典』（北星堂書店、7,500円）

五味田幸夫先生が分担執筆されています。「イギリス世紀末大百科」と副題がついて、ワイルドの人と作品、並びにその周辺のことや日本での研究、書誌まで含めた大冊です。

『英米文化』投稿規定改正されました

『英米文化』投稿規定

1 内容

- a) 英語文化にかかわる論文。英米文学、英語学、英語教育、英米文化研究など。
- b) 応募論文はすべて未発表のものに限る。

2 長さ・形式

和文論文：400字詰め横書き原稿用紙20～40枚程度。

ワープロの場合は、40字×20行で打ち出すこと。

英文論文：ダブルスペースで15～30枚程度（1枚65ストローク×25行）

- a) 注は原稿末尾にまとめる。
- b) 注のノンブルは裸のアラビア数字を用いる。
- c) 外国の人名、書名等は、著名なものを除き、初出の箇所で原名を書く。
書式の細部に関しては、

MLA Handbook for Writers of Research Papers: Fourth Edition

（邦訳『MLA新英語論文の手引 第4版』北星堂 1998年）を参照のこと。

3 ABSTRACT、英文表題及び略歴

英文論文・和文論文共に、200 words 程度の英文の ABSTRACT をつけること。

和文論文には英文表題をつけること。

略歴（所属学校・機関など、及び研究分野・主要研究テーマ）をつけること。

4 締切

毎年10月末日とする。

5 原稿送付

原稿3部を学術委員会宛に送付すること（注1、注4）。

封筒に「英米文化原稿」と朱書すること。

6 原稿審査

応募原稿は学術委員会による審査の上掲載を決定する。

論文の採否は、12月末頃までに投稿者に通知される。

7 編集・校正

編集は、編集委員会にて行う（注2）。

執筆者校正は二校までとする。校正に於ける修正はミスプリント程度とする。

初校は1週間以内、再校は3日以内に返送すること。

8 著作権

会誌全体の著作権は英米文化学会が有し、個々の論文の著作権は執筆者が有する。

9 執筆者負担金

印刷1ページにつき3500円（抜刷代込み）とする。

『英米文化』完成後、財務委員会で負担金額を決定し執筆者に通知する（注3）。
執筆者には掲載誌5部及び抜刷50部を贈呈する。

注1：学術委員会	〒		田辺治子
注2：編集委員会	〒		中村 豪
注3：財務委員会	〒		石川郁二

注4：パソコンまたはワープロを使用した場合は、打ち出し原稿3部及び保存したフロッピーディスクを提出すること。フロッピーディスクに、使用機種名（パソコンの場合は、機種名と使用ワープロ・ソフト名）及び保存したときの文書名を書いておくこと。印刷所に変換できた場合は、1ページ当りの料金を、3000円とする。

フェミニズム分科会発足のお知らせ

フェミニズムの視点から文学、文化、言語、コミュニケーションなどを問い直してみようという呼びかけから、この度、フェミニズム分科会を発足しました。最初はフェミニズムに関する理論書を中心とした読書会から始めようと思っています。屈託のない意見を言い合える分科会にしたいと思っています。ご興味のある方は吉原令子までお問い合わせください。

参加希望、問合せ

吉原令子

事務局長挨拶

☆新入会員

☆平成10年度学会暦

重要！

平成10年度の学会活動のタイムテーブルが決定しましたのでお知らせします。

平成10年度学会暦

	第97回例会	第16回大会	第98回例会	第99回例会
例会・大会	6/20	8/28-8/29	11/21	3/13
発表申込締切	4/20	4/10	9/21	1/13
会報投稿締切	35号=5/8	36号=7/17	37号=10/9	38号=2/1
会誌『英米文化』 投稿締切	10/31			

☆第16回大会について

前回の会報にてお知らせしましたように、第16回大会は、北海道網走市の東京農業大学をお借りして開催することとなりました。今年の8月28日午後1時に開会となります。東京から出発する会員が多くいらっしゃるの、学会では以下のサービスを提供します。

◎往路の航空機のフライト（8月28日）集合時刻は羽田に朝8時台を予定

◎大会期間中の宿泊（8月28日、29日）連泊を標準

◎翌日からの1泊研修ツアー（31日夕方のフライト）

航空時刻表、運賃改定版がまだ出ていませんので、正確なフライト時刻、運賃は申し上げられませんが、15名以上の団体扱いとしてもらえそうなので奮ってお申し込みください。宿泊（オホーツク渚亭）を除き、JTBのご協力を得て予約、ツアーなどが行われます。フライトの取り消しは出発2週間前までは、キャンセル料がほとんどかかりません。夏季繁忙期で人気路線なので、締め切ったからの追加申込みは多分不可能となりますので、3月にお送りする申込書は真剣にご検討ください。間際でのご参加の決定にはサービス致しかねますので申し込みはお早めに。

☆メールアドレスの取得について

現在、英米文化学会の三分の一弱の会員がメールアドレスを取得しております。プロバイダに使用申込みをする通常の方法の他に、週何度か仕事に行く先の教員室、図書館などで所謂インターネットの画面を見ることが出来る場合には、以下のインターネットの番地を打ち込めば、無料でブラウザメールアドレスを発行してもらえます。オプションのサービスを利用しなければ全くの無料ですので（画面に入っている広告収入で費用を賄っています）安心ですね。一度登録して自分専用のメールボックスを確保すれば、世界中どこからでも、例えばインターネットカフェなどでメールの送受信が可能となります（ロボメールは海外では英語なら可能）。

ロボメール URL: <http://www.robotmail.ne.jp>（日本語のメール可能）

ホットメール URL: <http://www.hotmail.com> (英語のメールのみ可能)

メールアドレスを確保して、週に1度以上メールボックスをチェックできる場合は、事務局 佐藤治夫 E-mail までご連絡ください。

☆例会・大会への申込書

以下の例会、大会発表申込書をコピーしてお使いください。後日、400字程度の発表レジメとフロッピーをお送りいただくことになります。申込書は該当する項目を○で囲んで指定してください。

例・大会発表申込書

年 月 日

例会・大会の名称 第 回 例会・大会

発表タイトル

所属/勤務先

発表時間 A. 30分 B. 40分 C. 50分
(質疑時間の10分を含みます)

以上の如く、発表を申し込みます。

会員氏名

英米文化学会会報 (年4回発行)

第34号

編集・発行：英米文化学会編集委員会

池田広子、小川喜正、岸山 睦、武井朗子、中村 豪、宮崎敬子、山根正弘

発行責任者：中村 豪